

質問 今日の異常気象により、防災組織を中心とした講習り、市域でも突発的な集中豪雨や線状降水帯などが発生する可能性があり、常に災害に備えておくことが大切である。防災・減災の取り組みについて、①基本的な考え方は。②コロナ禍における地域の市民自主防災組織による防災訓練や啓発活動の進め方は。③洪水・土砂災害ハザードマップや水害(内水)ハザードマップの内容を理解してもらうための啓発方法は。

無党派 ①自助・共助・公助の考え方に基づき、市民、自主防災組織、事業者と市がそれぞれの役割を果たし、相互に連携して取り組むことが必要と考える。②自主

防災・減災の取り組みについて

南雲隆志 議員

地区画整理事業について、①第二区駅前ブロックの建物移転の進捗状況は。②中神駅北側地域整備計画を全員協議会にて協議の予定だが、これまでの経緯は。③残り14棟で権利者と引き続き交渉を行っている。④区域内道路等検討委員会での検討、特に影響の大きな権利者への訪問説明

住民説明会やホームページでの意見募集などを経て、委員会や調査会における検討を踏まえ、取りまとめた。

質問 昭島都市計画中神土

一般質問 (要旨)



どの本にする?
(アキシマエンシス)

質問 平和への取り組みについて、①ロシアによるウクライナへの軍事侵攻後、核兵器使用のリスクが最も危険なレベルに高まっている。非核平和都市宣言を行っている自治体として、核の脅威をどのように捉えているのか。②平和に対する市の取り組みは。③平和首長会議を通じて、核兵器禁止条約の第2回締約国会議へ、日本がオブザーバー参加することを要請すべき。④若い世代が核廃絶に向けてグ

回答 ①小学校では人権教育と関連付けた平和教育、中学校では展示による取り組みを実施している。また、外部講師等による平和学習を実施している学校もある。今後教育活動全体を通して平和を尊ぶ心を養うなど、児童・生徒の育成に努める。

平和への取り組みについて

赤沼泰雄 議員

質問 特定公共物の不法占用について、①実態と対策は。②特定公共物管理条例の罰則を適用した例はあるのか。③5万円以下の過料の罰則強化を考へる。④若和への歩みを進めていくための罰則強化を考へる。

回答 ①206件あり、地権者等の事業があり、展示での撤去や払い下げ等の依頼をしている。②適用実績は伝承者の講話会の開催など、内容の充実にも努めている。③引き続き働きかけていく。そのため、予定はない。

反対

日本共産党昭島市議団

佐藤 文子 議員

インボイス制度は、ほとんどの免税事業者が課税業者となることを求められることが予測され、業者の生活に大きな影響を及ぼす制度設計となっている。また、課税売上げ1千万円以下の事業者にとっては、インボイス制度は必要となくなり、事業の今後を左右する重大な仕組めと言える。委員長の報告に反対する。

「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情を不採択とする委員長報告について

3面下段より

質問 子育てしやすいまちづくりの実現に向けて、①産後ケア事業の充実強化を図るため、家事と育児の両面から母親をサポートする産後ドゥーラの導入と人材確保のために資格取得への助成を行う考えは。②シニア世代が持つ豊かな知識と経験を活かし、世代連携の子育て支援が図られるように、あきしま祖父母手帳を作成する考えは。また、祖父母を対象とした講座等を実施して孫育てを支援する

回答 ①実態の把握方法などを含め、検討していく。②都や関係機関との連携による取り組みを進める中で、相談しやすい環境の整備など、きめ細かい継続的な支援に努めていく。

子育てしやすいまちづくりについて

公明党昭島市議団 松原亜希子 議員

として調査・研究していく。③両親学級において父親の役割や関わり方について学ぶ機会を提供している。父親を応援する講座の実施について、関係部署と連携を

質問 ひきこもり支援について、①実態調査を実施すべきだが、考えは。②ひきこもりに悩んでいる当事者やその家族が、安心して通える集いの場の提供は、非常に有益と考える。更なる支援と拡充を図る考えは。

回答 ①実態の把握方法などを含め、検討していく。②都や関係機関との連携による取り組みを進める中で、相談しやすい環境の整備など、きめ細かい継続的な支援に努めていく。

質問 自治会の加入率は年々低くなり、活動を縮小せざるを得ない状況が出てきているが、災害時の助け合い、日常生活の安全確保、幅広い世代の交流など、多くのメリットがあると考える。①現在の市内の自治会数と加入率は。②これまでのような加入促進策を行っているのか。③加入促進専門の組織を立ち上げては。④新築集合住宅入居者や転入者への加入促進はどのように行っているのか。

回答 ①令和4年4月1日現在、自治会数は99自治会、加入率は32%である。②活動内容や加入のメリットなどを市広報へ掲載し、自治会連合会では協力店の特典を受けられる互近助カードの会員への配布などを行っている。③自治連で加入促進委員会を設置し、加入率向上に向けて取り組みを行っている。④大型マンションが建築される際には、建設業者等に対し、自治会設立の働き掛けを行っている。盤として、児童・生徒が積極的に地域の活動等に参加できるように働きかけていく。

地域力の低下、自治会の今後について

自由民主党昭島市議団 高橋 誠 議員

茶道などの体験活動を通して実践的な学習に取り組んでいる。②今後もお互いに顔の見える関係づくりを基盤として、児童・生徒が積極的に地域の活動等に参加できるように働きかけていく。

本会議において賛否の分かれたもの

採決の結果	無党派							採決の結果
	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
件名	自由民主党昭島市議団							採決の結果
	(7)	(5)	(3)	(3)	(1)	(1)	(1)	
「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情	×	×	○	○	×	○	欠席	不採択

会議録をホームページで閲覧できます

会議録検索システムにより、平成7年5月から令和4年7月までの本会議会議録、委員会記録、協議会記録をご覧になれます。なお、第3回定例会の記録は11月下旬に更新する予定です。